

地質ニュース

昭和44年1月

第173号

1969

解説	原料炭田周辺の地質学的総合研究 音江山周辺地域……………植田 秀郎 原料炭グループ……………1
	地盤改良とは 産業公害対策への1つのアプローチ……………渡辺 和衛……………8
トピックス	日本万国博覧会……………稲井 信雄……………22
	水銀の話 ⑤……………岸本文男……………15
	海外技術研修生が行なった流量測定について……………尾崎 次男……………24
	ポーフィリーカッパー鉱床 ⑨物理探査とその適応性……………小野 吉彦……………32
資料	ソ連図幅調査の歩み……………岸本文男訳……………42
海外事情	Al Wajh 地域のキャンプ生活……………小村幸二郎……………49
	地学と切手……………堀内 恵彦……………31

編集 地質調査所

表紙の写真

大理石

大理石とは 石灰岩が變成作用をうけて 結晶質になったもの つまり 石灰岩を構成する本来微粒の方解石が大きく成長したものである。良質のものは建築や彫刻に利用されるが、ここにあげた大理石は、実は日本中ごく普通にみられる平凡なもので、とても彫刻用などにはならない。それでも岩石顕微鏡で観察すると案外綺麗である。いろいろな色をしているが、全部方解石の結晶である。約50倍。なお市販の“大理石”には、人工のものや、火成岩などまで、この名前を使っている場合がある。

(片田 正人)

発行 株式会社 実業公報社

